

# 全国の子どもたちが、スポーツを通して「こころとからだの成長」を体感しています

たくさんのスポーツから種目を選ぶのも魅力!!

**日本スポーツ少年団概要** 創設 昭和37(1962)年 団員数 約65万人  
 団数 約3万1千団 種目 60種以上

平成24(2012)年に創設50周年を迎えた日本最大の青少年スポーツ団体です。

- |             |            |          |            |             |
|-------------|------------|----------|------------|-------------|
| ・アーチェリー     | ・サッカー      | ・ソフトボール  | ・馬術        | ・ホッケー       |
| ・合気道        | ・山岳        | ・太鼓      | ・バスケットボール  | ・ミニバレーボール   |
| ・アイスホッケー    | ・銃剣道       | ・体操      | ・バドミントン    | ・野外活動       |
| ・ウェイトリフティング | ・柔道        | ・卓球      | ・バトントワリング  | ・野球         |
| ・エアロビック     | ・少林寺拳法     | ・綱引      | ・バレーボール    | ・ラグビーフットボール |
| ・カーリング      | ・水泳        | ・ティールボール | ・ハンドボール    | ・リーダー会等     |
| ・カヌー        | ・スキー       | ・テニス     | ・フェンシング    | ・陸上競技       |
| ・空手道        | ・スケート      | ・ドッジボール  | ・複合種目      | ・レスリング      |
| ・弓道         | ・スポーツチャンバラ | ・トライアスロン | ・武術太極拳     | ・ローラースケート   |
| ・ゲートボール     | ・相撲        | ・トランポリン  | ・フットベースボール | ・その他        |
| ・剣道         | ・セーリング     | ・なぎなた    | ・ボウリング     |             |
| ・鼓笛         | ・ソフトテニス    | ・軟式野球    | ・ボート       |             |
| ・ゴルフ        | ・ソフトバレーボール | ・日本拳法    | ・ボクシング     |             |


※複合種目とは数種類のスポーツを併行して行ったり、季節ごとに変えたりして活動を行う形態のことです。

令和元年(2019)年度現在スポーツ少年団は、約65万人の子どもが地域の協力によって全国各地の約3万1千団で活動しています。その中で、子どもたちは、60種以上もあるスポーツを楽しみ、その活動を通して成長する過程で必要な多くのことを学び、経験しているのです。

### スポーツの歓び

「競う」だけでなく「楽しむスポーツ」が目標です

成長が著しい子ども時代には、まずからだを動かすことの楽しさや歓びを知ることが大切です。基礎的な運動能力や運動習慣を身につけ、生涯にわたってスポーツを楽しむ基盤を作りたいと願っています。




### 情操教育

仲間との集団行動が「こころの成長」につながります

スポーツだけでなく、野外活動や社会活動、文化活動など多岐にわたる活動を通して、子どもは協調性や創造性を養い、社会のルールや思いやりのこころを学んでいきます。これらが「こころの成長」を促します。



### 地域とのつながり

「地域のキズナ」のなかで子どもを支援する組織です

スポーツ少年団は、全国20万人の地域の人々の手によって支えられています。このスポーツを通じたネットワークの広がりが、地域内の交流を活発にし、よりよい地域作りにも繋がっていきます。




※全国的なイベントとして、8月には全国スポーツ少年団大会や競技別交流大会(軟式野球)、シニア・リーダースクール、ドイツや中国の青少年との国際交流、12月には競技別交流大会(ホッケー、サッカー)、3月には競技別交流大会(剣道、バレーボール)などが開催されます ※令和元年(2019)年度現在